

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	農業集落排水整備事業		
事業担当	土木部 下水道整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等	地域再生法		
対象・受益者	市民	事業期間	～ 平成27年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
農業集落排水区域内市民の、水洗化による衛生的な生活環境の向上が図れています。		河川の水質保全や公衆衛生の向上のため、西部丘陵地域（土屋・吉沢地区）の下水道（汚水）を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	集落排水進捗率				単位	%
	説明・算定式	全体延長36,465m。H22まで:21,530m、H23:3,518m、H24:2,232m、H25:2,760m、H26:4,761m、H27:1,663m					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	57	62	74.8	82.4		
	実績	59	68.7	77.3			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度 の検証結果							
資源循環施設の建設に着手し、管路の整備も順調に進めました。							
平成24年度 の検証結果							
A：成果があがった							

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	農村地域における資源循環の推進を図りつつ農業用排水の水質保全により農村の生活環境の改善を図ります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	農業集落における生活排水を処理する施設を設置することにより県条例に定める水質を確保できます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域再生法に基づく交付金(5/10)とともに県補助金(1/10)を受け、整備費の一部を受益者から徴収します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	経済性や事業効果等を検討し、合併処理浄化槽事業との整合を図ります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		今後の管渠埋設においては、道路の拡幅整備を行いながら施工しなければならない箇所が出てきます。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

事業内容		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
管渠築造工事、処理場整備			管渠築造工事、処理場整備	管渠築造工事、資源循環施設	管渠築造工事、資源循環施設整備
財源内訳	国庫支出金	290,000	260,500	165,820	175,000
	県支出金	58,000	52,100	33,164	35,000
	起債	261,600	268,700	126,700	340,800
	その他 特財	50,903	37,887	31,575	20,845
	一般財源	1,239	7,950	0	10,097
事業費 (A)		661,742	627,137	357,259	581,742
執行率 (%)		92.93	88.46	68.86	
内訳	職員 (人)	4.40	4.00	2.96	2.70
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.07
人件費 (B)		36,340	32,416	23,725	21,698
フルコスト (A+B)		698,082	659,553	380,984	603,440

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度取組方針	平成27年度末の完了を目指し、着実に事業を実施します。
課長コメント	資源循環施設の建設を進め、平成26年度からの供用開始を目指します。